

キャラクター名	プレイヤー名
金屋 蜜柑	

シンドローム	サラマンダー	ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	高校生
	サラマンダー				
オプション		年齢	15歳	性別	女
覚醒	生誕	衝動	破壊	初期侵食率	33 %
出自	親戚と疎遠	経験	純粋培養	邂逅	慕情

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	4	0	0			4	行動値	5
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	5
精神	2	1	0			3	戦闘移動	10
社会	2	0	0			2	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	4		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識: 鍛冶	2		情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
【ヴァルカンの槍】	RC	8r+4	C8	23		5>1+2+3 装甲無視
【ヴァルカンの鎧】/100↑	RC	9r+4	C7	48		5>1+2+3+4 装甲無視

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
【フレイバー】		ロイス			
携帯電話		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス消費
アクセサリ		No.49 永遠の炎	P	N	
		父親	P 慕情	N 無関心	
【実用】		育ての親	P 尊敬	N 偏愛	
コネ: 要人への貸し		“千変万華”桃杜 鏡佳	P 尊敬	N 敵愾心	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
		最大財産P:	4	残り財産P:	3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
C:サラマンダー	2	2	Xジャー	-	-	シド	0	-
効果:	C値-Lv(下限7)							
焦熱の弾丸	1	1	Xジャー	視界	-	RC	-	
効果:	攻撃力+Lv+2の射撃攻撃							
結合粉碎	5	4	Xジャー	-	-	シド	0	ピュア
効果:	判定D+Lv。装甲無視							
プラズマカノン	3	4	Xジャー	視界	単体	RC	100	
効果:	攻撃力+Lv×5の射撃攻撃							
エターナルブレイズ	5	4	セット	至近	自身	自動	0	1
効果:	R間。攻+Lv×4、【行動値】-5							
温度調節	★	-	Xジャー	至近	自身	自動	-	
効果:	温度が決め手となる作業に習熟							
不燃体	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	通常の炎や寒さではノーダメージ							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

【経歴】
 馴染市の公立高校に通う、右目の眼帯がチャームポイントな、恋に恋するお年頃の少女。
 おっとりした喋り方、天然気味な受けごたえ、頻発する遅刻欠席早退などの要素から、クラスメイトには病弱であり学校に通えないお嬢様なのではないかと噂されている。
 その正体は馴染市UGN支部に所属するチルドレン。最近よその支部からの派遣された身であり、まだ馴染市には馴染みきっていない様子。

生れつき右目に高濃度のレネゲイドが宿っており、出産時にそれで母親を焼き殺した過去がある。その事件を契機にUGNに引き取られ、以来赤ん坊のころからチルドレンとして育成された純粋培養。父親が生きており、親戚関係も健在らしいというのは近年知らされたが、興味は薄い。
 右目は現在、暴走こそしないものの完全な把握には至っておらず、抗レネゲイド加工を施した眼帯で封じている状態。

柔和な外面は内に秘めた苛烈な性分を緩和するためチルドレン担当官が刷り込んだ『鞘』であり、興奮時に『刀身』が顔を覗かせることがある。
 特に彼女のレネゲイドが結晶化し、内から漏れ出す炎で焼けただれた異形の右目を見た者は無条件で殺意の対象となりうる。
 長年の指導でUGN上位者の命令はその状態でも受け付けるほか、仲間、庇護対象と定義された相手にむすぐさま殺意を実行に移すことはなくなったが、危険なことに変わりはない。

趣味は鍛冶。
 貴重な休日は自身の工房に立て籠もり、全裸で髪を振り乱しながら(《不燃体》では衣服を保護しきれないため)、素手で燃え盛る金属を打ちのめし続ける(《直接触った方が《温度調整》の精度が向上するため)、まごころこと無き変態である。

なお、そこまでやっても彼女の性分は破壊に大きく偏っており、けっごうな頻度で駄作が排出される模様(【感覚】1。《芸術:鍛冶》は1/10でファンブル)。